

八千代市イメージキャラクターやっぴ



# 八千代市 農業委員会だより



新規就農者  
インタビュー



沼の田んぼ  
代表 荒平 泰吾さん



沼で育った、  
れんこんです。



八千代市「堀の内」地区の遊休農地を再生して、令和4年より就農した荒平さん。印旛沼の自然を活かしたレンコン栽培について、お話を聞いてきました！



▲荒平さん(左)とインタビューの仲村推進委員(右) R6.11撮影

## レンコン農家になったきっかけは？

❁前職では百貨店で働いていたのですが、だんだん「**自分の裁量でやれることを始めたい**」と思うようになって、30歳を機に退職して農業を志しました。それから地元の農家さんのもとで働きながら、どの作物を育てようかと、いろいろ調べていくうちに「**レンコンなら生計を立てていけそうかな**」という予感があった。ちょうど、旭市のレンコン農家さんが人手を募集していたので、そこで3年ほど働きながら栽培ノウハウを習いました。そして、修行が明けて農地を探していたら、八千代市とご縁があって就農へ至りました。

## 農業の魅力や、やりがいを感じることは？

❁農業を生業にすると畑や田んぼからは、なかなか離れられませんよね。だからこそ「**自分がその土地の歴史を受け継ぎ、自分もルーツの一部となっていける**ところ」が魅力だと思っています。ある地元の人に「自分の生き立ちを知っているほうが、人生豊かじゃない？」と言われました。レンコンもしかり、育ての土地の背景や歴史、レンコンの成長過程等を「沼の田んぼ」のサイトやSNSからお伝えすることで**イメージが膨らんで、お客様の食生活が豊かになってくれたら、とても嬉しいし、やりがいにも繋がりますね。**



▲「沼の田んぼ」サイト

「沼れんこん」のこだわりは？

☀ 僕の田んぼの場所は、かつては印旛沼の底で、地元では「沼の田んぼ」と呼ばれています。その天然の泥土と、沼の水で育ったのが「沼れんこん」です。また、肥料は最小限だけ、**農薬や除草剤は使わずに土着の微生物の力を借りて栽培**しています。僕の田んぼにはザリガニやおたまじゃくし、小魚とかい로운な生き物がいて、そんな生態系の好循環もレンコンが健やかに育つためのエネルギーになっています。

なので、**自然の力を借りてこんなに楽しい田んぼで作っているのが「沼れんこん」なんですよ**と、胸を張って言えるのがこだわりかな。なお、身に締りがあって、味がちゃんとしているのが特長の「沼れんこん」。おすすめの食べ方は「薄く切って、素焼きか素揚げにして、塩で食す」です。



▲自噴井戸造成の様子



▲沼れんこんの収穫の様子

遊休農地の再生からのスタートでたいへんだったことは？

☀ 元の荒れた水田には雑草だけでなく、雑木も70本ほど生えていました。それを引っこ抜いてからトラクターで耕起したんですけど、深い場所に2回くらいはまって、**トラクターが脱出不可能になったこと**ですね。2回とも人に頼んで引き上げてもらいました(笑)。また、新しく掘げた田んぼに植え付けたレンコンが、何者かに半分以上も食べられてしまって。それで、夜通し見張っていたら**猪が来て、沼の水の中に潜って食べていました**。応急措置として水を深く張っても、猪が入って行ける場所は、ほとんど食べられてしまったので、今の段階では竹で柵を作って対処しています。



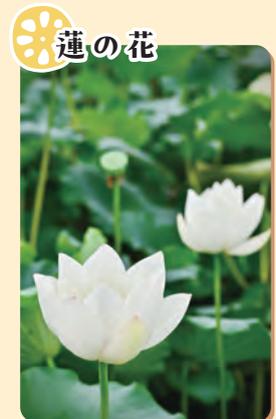
再生前

▲背の高い雑草に覆われて雑木も70本ほど生えた荒地だった



再生後

▲レンコンが栽培できる田んぼとして見事に復活を遂げた



蓮の花



のぼり旗

今後のビジョンは？

☀ その土地によって、栽培の最適解は異なると思うので、ここ「沼の田んぼ」の特性や、印旛沼の自然のエネルギーを最大限に活かした、**独自のレンコン栽培の確立を目指していきたい**です。

また、サイトやSNSで発信している付加情報的なことを、実際に体感できる直売所を作っていきたいです。「沼れんこん」を手に取りながら、育ったこの土地の歴史や栽培過程を知ることができ、「**感じて、愉しめて、美味しい野菜を買える場所**」です。

そして、いずれ「沼の田んぼ」が、自然に人が集まってくる拠り所となって、「**個々人の生活の豊かさと地域の活性化に貢献していくこと**」。それらがビジョン実現の第一段階と考えております。



〈沼の田んぼ〉



☆ 詳細は公式HP  
をチェック!

Add.千葉県八千代市  
堀の内454-2  
Open 8:00~17:00  
販売期間 7月中旬~3月末



▲沼れんこんのロゴは、「印旛沼の怪獣」の胸元にある模様をモチーフに作成したとのこと(詳しくはHPへ)

Q 八千代市 沼の田んぼ

【取材後記】

農業をやりたいという思いをレンコンで叶えた荒平さん。いろんな付加情報をレンコンに添えてサイトやSNSから発信する、その積極的な姿勢には感心して共感する思いです。たいへんなこともあるようですが、「沼れんこん」の魅力をこれからもどんどん発信してもらい、八千代の農業と一緒に盛り上げていきましょう。  
(広報委員 仲村 秀一)

農業委員会の活動

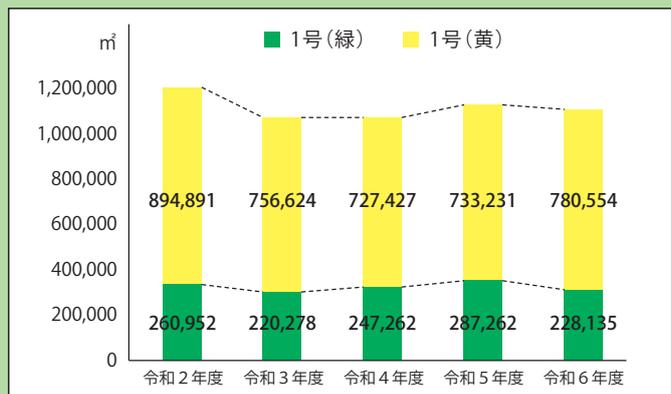
「農地の利用状況調査の結果についてお知らせします」

農業委員会では、遊休農地の現状把握のため、農地法に基づき毎年夏に農地の利用状況調査を実施しています。令和6年度の結果は【表1】のとおりです。農家の皆様におかれましては、ご協力いただきありがとうございました。

【表1】 令和6年度 農地利用状況調査結果 (単位:m<sup>2</sup>)

| 区分<br>地目 | 1号(緑)<br>遊休農地 | 1号(黄)<br>遊休農地 | 計         |
|----------|---------------|---------------|-----------|
| 田        | 161,538       | 567,479       | 729,017   |
| 畑        | 66,597        | 213,075       | 279,672   |
| 計        | 228,135       | 780,554       | 1,008,689 |

【参考】 直近5年の遊休農地面積の推移



- \* 1号(緑)遊休農地：雑草が繁茂しているが、トラクター・耕運機等を利用して耕作が可能となる農地
- \* 1号(黄)遊休農地：トラクター・耕運機等の利用では耕作が可能とならず、基盤整備事業の実施等の条件整備が必要となる農地

利用状況調査の結果、遊休農地と判定されました農地の所有者に対しまして、令和6年12月~令和7年1月に利用意向調査を行いました。回答の返送にご協力いただきありがとうございました。

次回の利用状況調査は令和7年8~10月頃に実施する予定です。調査の際は、農地に立ち入ることがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 八千代市農地の賃借料情報についてお知らせします

令和6年1月から12月までの農地法第3条の賃借権設定と農業経営基盤強化促進法の利用権設定による賃借料は、【表2・表3】のとおりです。

この賃借料情報は、農地の貸し借りをする場合の参考のために集計したものですので、実際に賃料を決定する際は、貸し手と借り手の両者でよく協議してください。

**【表2】 田(水稻)の部** (単位：円/10a、筆、件)

| 締結(公告)された地域名 | 平均額     | 最高額     | 最低額     | データ数 | 件数  |
|--------------|---------|---------|---------|------|-----|
| 第1区          | 18,000円 | 18,000円 | 18,000円 | 4    | 1   |
| 第2区          | 9,200円  | 22,700円 | 9,000円  | 713  | 128 |
| 第3区          | 18,000円 | 18,000円 | 18,000円 | 26   | 16  |
| (参考) 八千代市平均  | 9,500円  |         |         | 743  | 145 |

**【表3】 畑(普通畑)の部** (単位：円/10a、筆、件)

| 締結(公告)された地域名 | 平均額    | 最高額     | 最低額    | データ数 | 件数 |
|--------------|--------|---------|--------|------|----|
| 第1区          | —      | —       | —      | 0    | 0  |
| 第2区          | 9,400円 | 26,000円 | 5,400円 | 24   | 13 |
| 第3区          | 9,300円 | 14,800円 | 5,300円 | 6    | 4  |
| (参考) 八千代市平均  | 9,400円 |         |        | 30   | 17 |

**【参考】 過去3年間の平均額(八千代市全域)**

|   | R4      | R5      | R6     | 3年平均    |
|---|---------|---------|--------|---------|
| 田 | 10,900円 | 6,300円  | 9,500円 | 9,300円  |
| 畑 | 10,400円 | 10,900円 | 9,400円 | 10,400円 |

- \* 1 第1区：概ね旧大和田町（大和田、萱田、ゆりのき台、萱田町、高津、高津東、八千代台、大和田新田、緑が丘、緑が丘西）  
第2区：概ね旧睦村（小池、真木野、神久保、島田台、大学町、平戸、佐山、島田、桑納、桑橋、吉橋、尾崎、麦丸）  
第3区：概ね旧阿蘇村（勝田、下市場、勝田台、勝田台南、勝田台北、村上、村上南、米本、神野、保品、堀の内、上高野、下高野）
- \* 2 データ数は、集計に用いた筆数。金額は、算出結果を四捨五入し100円単位となっています。
- \* 3 物納としているデータは、米60kg当たり18,000円に換算しています。
- \* 4 件数は、賃貸借権設定数（貸主、借主が同一の場合1件）。  
その他、これに含まない使用貸借権（賃料0円）の設定数は19件（34筆）です。
- \* 5 「(参考) 八千代市平均」の平均額は、全てのデータ（筆）の平均額です。
- \* 6 賃借料情報には水利費等の諸経費が含まれている場合があります。

## 八千代市農地等の利用の最適化推進施策に関する意見書の回答について

農業委員会から服部友則市長へ提出した「八千代市農地等の利用の最適化推進施策に関する意見書」の回答が令和7年1月29日付けでありました。回答につきましては、次のとおりです。

### 1 遊休農地の発生防止・解消に向けて

(回答) 地域計画におきましては、貴委員会の協力のもと、市街化調整区域の農地で10地区の地域計画を今年度中に策定できる見込みとなりました。策定後も地域農業の実態に応じ更新し、完成度を高めていく必要がありますので、今後とも、貴委員会と連携しながら、計画の更新を通じて遊休農地発生防止を図ってまいります。

また、現在桑納川地区において、県の再基盤整備事業に対する支援等を行っており、他に再基盤整備事業等の要望等がある地区がある場合は、適宜状況確認等を行います。

山林の維持管理は国としても問題視されているところであり、市としても状況に応じ所有者へ適正管理の依頼をしています。引き続き、所有者へ適正管理の依頼をかけるとともに、必要に応じ森林整備等に係る支援について検討してまいります。

### 2 新規参入の促進に向けて

(回答) 農業者の高齢化に伴う担い手不足は、本市においても重要な課題として考えております。梨園、ハウス、牛舎等の経営資源や、高度な農業生産技術等の八千代市の農業が引き継がれるよう、千葉県、八千代市農協等と連携を図りながら、家族・親族以外への経営継承や、新規就農者等への研修先の提供や、農地のマッチング及び集積等、図られるよう努めてまいります。

また、第2次農業振興計画において新規就農者の確保・定着支援を重点施策として掲げており、令和7年度におきましては、新たに2件の新規就農者を対象とした予算を計上しております。

さらに、貴委員会事務局と連携のうえ、PR活動の推進に向け、新規就農者の紹介パンフレットの作成等を今年度予定しております。

### 3 農業経営の安定対策への取組に向けて

(回答) 多目的防災網及びビニールハウスの更新に係る補助事業については、検討しましたが、予算化には至りませんでした。今後も引き続き、検討してまいります。

また、肥料・資材・飼料価格高騰対策についても、予算化には至りませんでした。今後も引き続き物価を確認しつつ、対策について検討してまいります。

耕畜連携の取組については、八千代市畜産協会及び八千代市梨業組合長の意見を確認した結果、現在のところ「総合有機廃棄物処理場の整備」は難しいものと考えますが、耕畜連携の取組は、必要と考えますので、引き続き検討を進めてまいります。

※提出した意見書の内容につきましては、農業委員会だより第53号並びに市ホームページをご覧ください。

### 農業者のみなさまへご案内

## 農業者年金で 老後の生活に 備えませんか?

農業者年金にはメリットがたくさん!  
老後の備えは  
国民年金+農業者年金で!

- ★国民年金第1号被保険者(納付免除者を除く)・60歳以上65歳未満の国民年金任意加入者
  - ★年間60日以上農業に従事している方
  - ★20歳以上60歳未満の方
- これらに適合する方ならどなたでも加入できます。



詳しい内容は、「農業者年金基金」ホームページまで



問い合わせ先

農業者年金のご相談・加入申込みは、JA八千代市(☎047-450-3711)または農業委員会事務局(☎047-421-6793)へ。

# 全国農業新聞

充実した農業・農村の情報が届く!

発行日:毎週金曜日(月4回)

購読料:月額700円(送料・税込み)

申込み先:農業委員会事務局(☎421-6793)

## 編集後記

八千代市の農業従事者が年々減る一方で、新規就農者や希望者は増加傾向にあります。

新規就農希望者の一番の懸念は、土地の確保だそうです。遊休農地が増えている今、農業委員会を通じて、積極的に貸してみたいかがでしょうか。八千代の農業が永く続くために。

(広報委員 仲村 秀一)



## 農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

農業者のみなさまへ

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

### \*農作業中の熱中症\*

- 毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡
- 死亡事故の約85%が7~8月に発生している一方で3~6月にも発生



### \*予防のポイント\*

#### 暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所での作業



#### こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



#### 単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



#### 熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!

農林水産省

▲夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。予防のポイントをおさえて、熱中症対策をしましょう。

### お悔み

令和7年2月19日、農地利用最適化推進委員の角山克志委員がご逝去されました。令和5年7月に農地利用最適化推進委員に就任し、常に農業者のために尽力され、地域の農業の発展に大きく貢献されました。

ここに深く哀悼の意を表すとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

令和7年3月発行  
第54号

発行 八千代市農業委員会  
編集 広報委員会

〒276-8501  
千葉県八千代市大和田新田312-5  
☎047-421-6793

🔍 八千代市 農業委員会だより